



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン

Conservation Alliance Japan 2023 Annual Report

What's CAJ

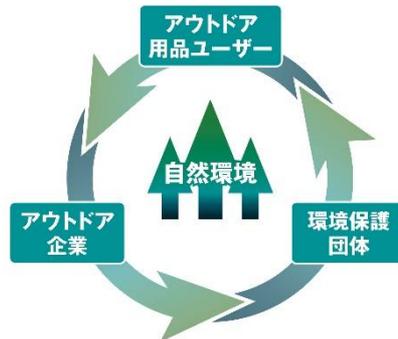
わたしたちは、 アウトドアビジネスで得た利益の一部を 自然保護のために還元します

コンサベーション・アライアンス・ジャパン(CAJ)は、自然保護のために活動している日本の環境団体に、活動資金の援助を行なうことを目的に、アウトドア関連企業が集まって2000年7月に設立した基金団体です。

各社の売上規模によって決定した年会費を基金(アウトドア環境保護基金)として集め、アウトドアフィールド中心とした自然環境保護活動に対し、資金提供をしています。

コンサベーション・アライアンス・ジャパンの参加企業は、すべてアウトドア関連企業です。私たちがアウトドアビジネスで得た利益の一部を、自然環境保護のための活動資金として助成、支援することは、間接的にユーザーが自然保護のために資金提供することにつながります。

自然環境保全のポジティブ・スパイラル



【MISSION】

CAJは日本の価値あるアウトドア・フィールドの保全を目的とする、緊急的かつ有効な保全活動を行っている環境保全グループを支援します。

多くの人々がアウトドアレクリエーションを楽しみ、固有の野生動物を育んできた多様性に満ちた日本の豊かな山や森、川や海を次世代へと継承するために、草の根的に活動する団体を支援していくことはアウトドア企業としての責務だと認識しています。

【VALUE】

Catalyst(触媒として)

アウトドア産業のベースとなる自然環境の保護や保全に取り組む非営利団体とアウトドアビジネスを結び付け、ブランド、サプライヤー、リテーラー、キャンプ場、メディアを問わず、アウトドア産業界全体で協働する機運を高め、積極的な関与を促します。

Collective Impact(集合的な影響力)

CAJの強みは、切磋琢磨している競合ビジネス同志が、健全な自然環境を持続させるという共通目標のもと、メンバーが一丸となって団結協働することで、社会的にも大きな影響力を及ぼすことができます。

Give Back(還元)

CAJのメンバー企業は、ユーザーが次世代にもわたってアウトドアを楽しめるように、ユーザーから得た売上の一部をフィールドの保護や保全活動に取り組む非営利団体に還元します。

Field Work (現場活動主義)

CAJの支援は、特定の土地や水域など、実際のフィールドに即した直接的な活動をしている非営利の自然保護プロジェクトにフォーカスしています。

What's CAJ

■設立経緯

1989年、アメリカにおいて、アウトドア業界の各社が、ビジネスで得た利益の一部を自然環境保護のために還元する目的で、The Conservation Allianceという団体を設立しました。現在、アメリカの参加メンバーは230社を超え、自然保護のために大きな成果を上げています。それをきっかけに日本でも有志が集まり、2年半の準備期間を経て2000年7月、任意団体としてコンサベーション・アライアンス・ジャパンが設立されました。約20年の活動を積み重ね、今後更にインパクトある環境貢献の創出の為に、2019年6月に一般社団法人化いたしました。

■2025年ビジョン

<Catalyst>

アウトドア業界のサステナビリティに関するハブになっている

<Collective Impact>

主要アウトドア関連企業の過半を含む100社が加盟するCAJは、日本のアウトドア・フィールドの持続的な保全と利用に取り組む団体にとって重要かつ安定的な資金源となるとともに、ユーザーもCAJ加盟企業の製品・サービスを優先的に選択するようになっている

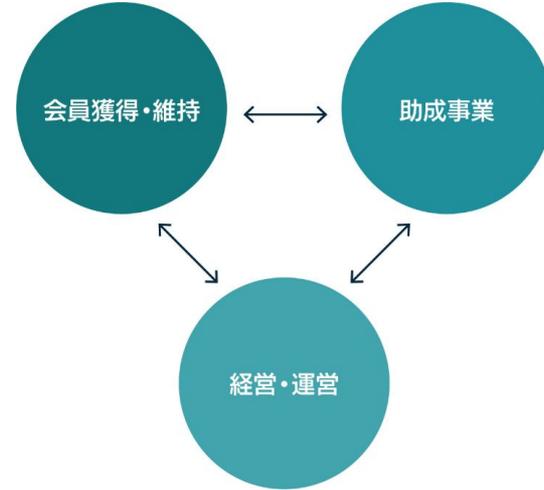
<Give Back>

アウトドア業界全体に自然保護に対する倫理観が確立され、年間2500万円規模の助成が行われている

<Field Work>

効果的なプロジェクトの支援を通じて複数のアウトドア・フィールドの保護・修復が実現している

■運営方針: 3領域のポジティブ・スパイラル



<会員獲得・維持>

助成成果の創出と広報を通じてCAJの認知を高めることに加え、各種勉強会、会員企業社員参加型のイベント等の開催を通じて、会員が継続するベネフィットを創出する

<助成事業>

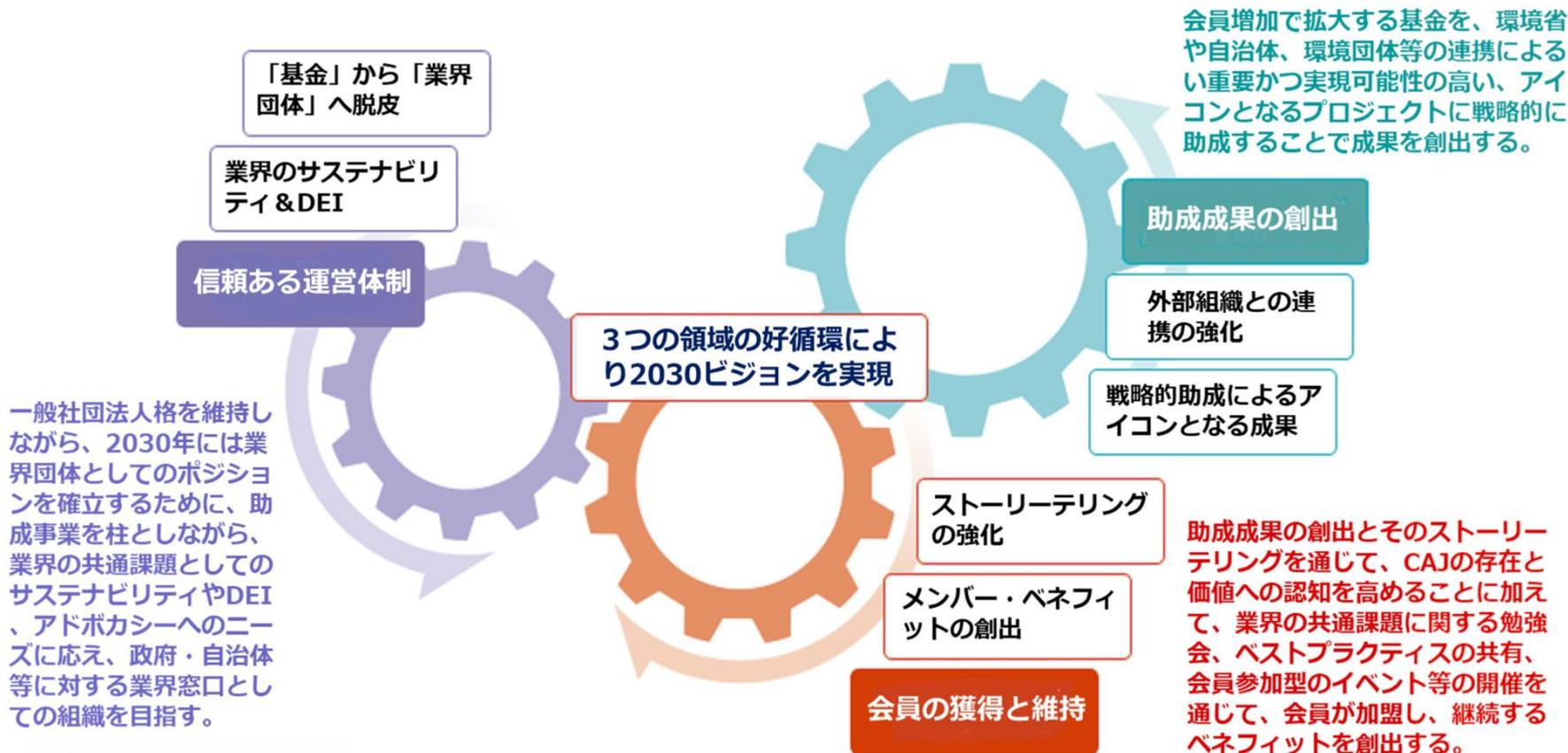
会員増加により拡大する基金を価値ある自然環境の保全に取り組む、実現可能性のあるプロジェクトを中心に助成することで成果を創出する

<経営・運営>

一般社団法人化と共に運営・事務局体制を強化し、透明性のある事業運営を維持しつつ、成果を出すための柔軟な業務執行を行う

Road to 2030

CAJ2030ビジョン実現に向けたアプローチ



Road to 2030

		Phase 1 (2022-2024) ※中期計画対象	Phase 2 (2025-2027)	Phase 3 (2028-2030)	
KPI	年助成額/ 会員総数	2022年(1150万円/60社) 2023年(1300万円/75社) 2024年(1600万円/100社)	2025年(1800万円/120社) 2026年(2000万円/140社) 2027年(2200万円/160社)	2028年(2300万円/180社) 2029年(2400万円/190社) 2030年(2500万円/200社)	
信頼ある運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 基金から業界団体へ サステナビリティ DEI 	公益レベルのガバナンス維持	(仮称) 日本アウトドア産業協会 (JOIA) へとシフト		
		事務局機能の強化		アウトドア基金+サステナビリティ+アドボカシー+ダイバーシティ+ユース	
		委員会	外部アドバイザー	有給専属スタッフ	
会員の獲得と維持	<ul style="list-style-type: none"> 広報 メンバー・ベネフィット 会員企業社員の巻き込み ユースのアウトドア参加 	ストーリーテリング強化、会員ベネフィットの創出	業界団体として業界の持続性、アドボカシー、情報発信		
		未加盟主要アウトドア企業の加盟促進	メンバーシップの範囲をアウトドアと親和性の高いビジネスへと拡大		
		OCAC勉強会	会員のサステナビリティ向上支援	NET ZERO 2030 目標	
		バックヤード・コレクティブの継続		ユース&ダイバーシティ・プログラム	
助成成果の創出	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的助成 外部連携 成果指標 	会員増加による基金規模拡大&成果創出	「アウトドア基金」=アウトドア自然保護基金+ユースアウトドア基金		
		アウトドア自然保護基金=アウトドア・フィールドとして価値の高い自然環境・景観を保護するプロジェクトにフォーカス			
		戦略的助成：環境省、NACS-J、地権者等と連携強化			
		ユースアウトドア基金：ユース世代のアウトドア体験を促進する			

※22年度計画にて中期ビジョンを見直し、ゴールを2025年から2030に延長した

Review of 2023

収支報告

CAJ 2023年度予算		
収入の部		
①前年度繰越金	年会費	運営費
	¥24,856,208	¥15,218,251
②年会費／運営費収入	年会費	運営費
	¥15,500,000	¥2,500,000
寄付金等		¥4,000,000
収入合計 (①+②)	¥40,356,208	¥21,718,251
支出の部		
③助成金	助成金	
	前期	¥3,500,000
	後期	¥3,500,000
	戦略的助成	¥3,000,000
助成金合計	¥10,000,000	
④運営諸経費		運営費
	事務局費	¥990,000
	WEBサイト・ドメイン保守費用	¥143,000
	Zoom利用料	¥22,110
	freee会計ソフト利用料	¥26,136
	振込手数料等	¥20,000
事業費① 戦略助成委員会調査費		¥400,000
事業費② OCAC委員会		¥100,000
事業費③ バックヤード委員会		¥200,000
事業費④ 広報委員会		¥500,000
	総会開催費	¥100,000
	雑費	¥200,000
支出合計 (③+④)		¥2,701,246
収支合計	年会費分	運営費分
	¥30,356,208	¥19,017,005

税込

実績		
収入の部		
	年会費	運営費
	24,856,208	15,218,251
②年会費／運営費収入	年会費	運営費
	15,862,500	2,600,000
寄付金等		¥3,685,650
その他		¥115,946
収入合計 (①+②)	¥40,718,708	¥21,503,901
支出の部		
③助成金	助成金	
	前期	¥1,460,000
	後期	¥2,400,000
	戦略的助成	¥2,800,000
	災害支援金	¥800,000
助成金合計	¥7,460,000	
④運営諸経費		運営費
	事務局費	¥762,916
	WEBサイト・ドメイン保守費用	¥182,600
	Zoom利用料	¥23,375
	freee会計ソフト利用料	¥26,136
	振込手数料等	¥9,160
事業費① 戦略助成委員会調査費		¥0
事業費② OCAC委員会		¥0
事業費③ バックヤード委員会		¥0
事業費④ 広報委員会		¥49,600
	総会開催費	¥272,410
	交通費・出張費	¥184,548
	雑費	¥172,889
支出合計 (③+④)		¥1,683,634
収支合計	年会費分	運営費分
	¥33,258,708	¥19,820,267

税込

差分		
収入の部		
	年会費	運営費
②年会費／運営費収入	年会費	運営費
	¥362,500	¥100,000
寄付金等		¥5,688,852
収入合計 (①+②)	¥362,500	¥5,788,852
支出の部		
③助成金	助成金	
	前期	-¥2,040,000
	後期	-¥1,100,000
	戦略的助成	-¥200,000
		¥800,000
助成金合計	-¥2,540,000	
④運営諸経費		運営費
	事務局費	-¥227,084
	WEBサイト・ドメイン保守費用	¥39,600
	Zoom利用料	¥1,265
	freee会計ソフト利用料	¥0
	振込手数料等	-¥10,840
事業費① 戦略助成委員会調査費		-¥400,000
事業費② OCAC委員会		-¥100,000
事業費③ バックヤード委員会		-¥200,000
事業費④ 広報委員会		-¥450,400
	総会開催費	¥172,410
	雑費	-¥27,111
支出合計 (③+④)		-¥1,202,160
収支合計	年会費分	運営費分
	¥2,902,500	¥803,262

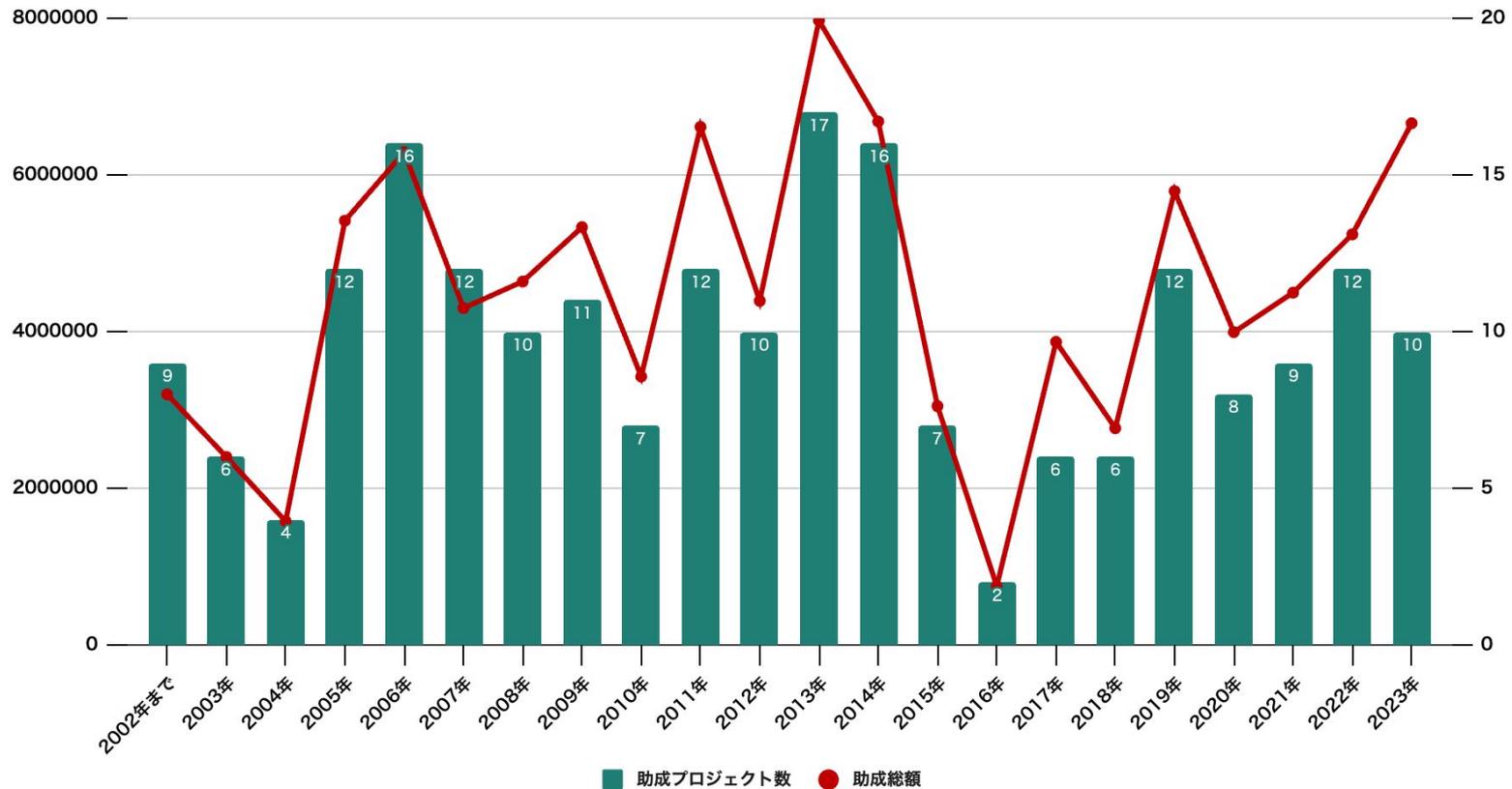
税込

中期方針

アウトドアコミュニティの力を結集して 生物多様性を保全し、 気候危機から私たちのフィールドを守る

気候変動緩和と生物多様性保全のいずれもが両立するような活動に注目し、
森林や里山、海洋など、炭素の固定化を促進できる健全な自然生態系を保全。
脱炭素化をめざすとともに、持続可能な形でアウトドアを楽しむことができる日本の自然環境を守る

Grants Achievements



Grants

<前期>

- ・間伐ボランティア 札幌ウッディーズ
【明るく機能性のある森の保全をずっと！！】
- ・修善の森プロジェクトの会
【修善の森トンボビオトープ整備プロジェクト】
- ・特定非営利活動法人信越トレイルクラブ
【「未来へつなぐ森林活用を考える～全国トレイル・メンテナンスシンポジウム」の開催】

<後期>

- ・一般社団法人北杜山守隊
【日本山岳保全サミットin北杜の開催】
- ・山のトイレを考える会
【大雪山と日高山脈のトイレ問題解決に向けた取組み】
- ・1095登山道整備隊
【北アルプス 徳本峠(島々明神線)整備・保全プロジェクト】
- ・秩父多摩甲斐トレイルアソシエーション
【秩父多摩甲斐国立公園における登山道管理の仕組み作】
- ・Yamanashi MTB 山守人(南アルプスマウンテンバイク愛好会)
【櫛形山ヒノキ尾根古道再生MTBプロジェクト】

計8団体 支援総額 ¥ 3,860,000

Grants

<戦略助成>

- ・日本山岳歩道協会
【第1回 日本山岳保全サミット in 大雪山旭岳】
- ・NPO法人Leave no trace japan
【ホットスポットプログラム】

支援総額 ¥ 2,800,000

<能登災害支援金>

- ・一般社団法人OPEN JAPAN
- ・NPO法人ボランティアインフォ
- ・NPO法人地球守
- ・一般社団法人RQ災害教育センター

支援総額 ¥ 800,000

Activity

23年度総会 (5/26)

上郷森の家にて前年度に引き続き合宿形式での開催。総会に加えて助成先でもある大雪山山守隊の岡崎氏による講演会、懇親会ではBBQ、翌日は裏山トレッキングのアクティビティを実施した。



「日本山岳保全サミット in 大雪山 旭岳」(8/11)

各地で登山道の維持管理に関する活動に取り組む団体及びアウトドア関連企業が連携し、持続可能な環境保全のあり方を提案することを目的として発足した、日本山岳歩道協会の第一回シンポジウムに三浦代表がパネリストとして参加。



申込み・問い合わせ
住所・氏名・年齢・人数をご記入の上、下記アドレスにお申し込みください。
yamamoria1@email.com

① 日本山岳歩道協会 (ジャパントレイルアライアンス)
② 一般社団法人 大雪山・山守隊
協賛: コンタクトアウトドアアライアンスジャパン (CAJ)
③ 梨川野大雪山国立公園保護協会

Activity

ワタシのミライ(9/18)

「No Nukes & No Fossil 再エネ100%と公正な社会を目指して」を標語に開催されたイベントに協力団体POWから紹介を受けてブース出店し広報活動を実施。また気候正義を訴えるパレードにも任意で参加した。



「カーニバル湘南」出展 (11/3)

辻堂海浜公園にてSFJ主催による2年目となるエコイベントに出展。toC向け露出強化施策として、広報活動を実施。

Carnival
SHONAN
2023.11.3 文化の日(祝)
@辻堂海浜公園

#ゴミゼロ
#主役は地域だ
#MY食器MYカップ持参



Activity

トレイル・メンテナン・スシンポジウム(5/26)

助成先でもある信越トレイルクラブ主催の初のシンポジウムに三浦代表がパネリストとして参加。同時にブースも出店し広報活動を実施。

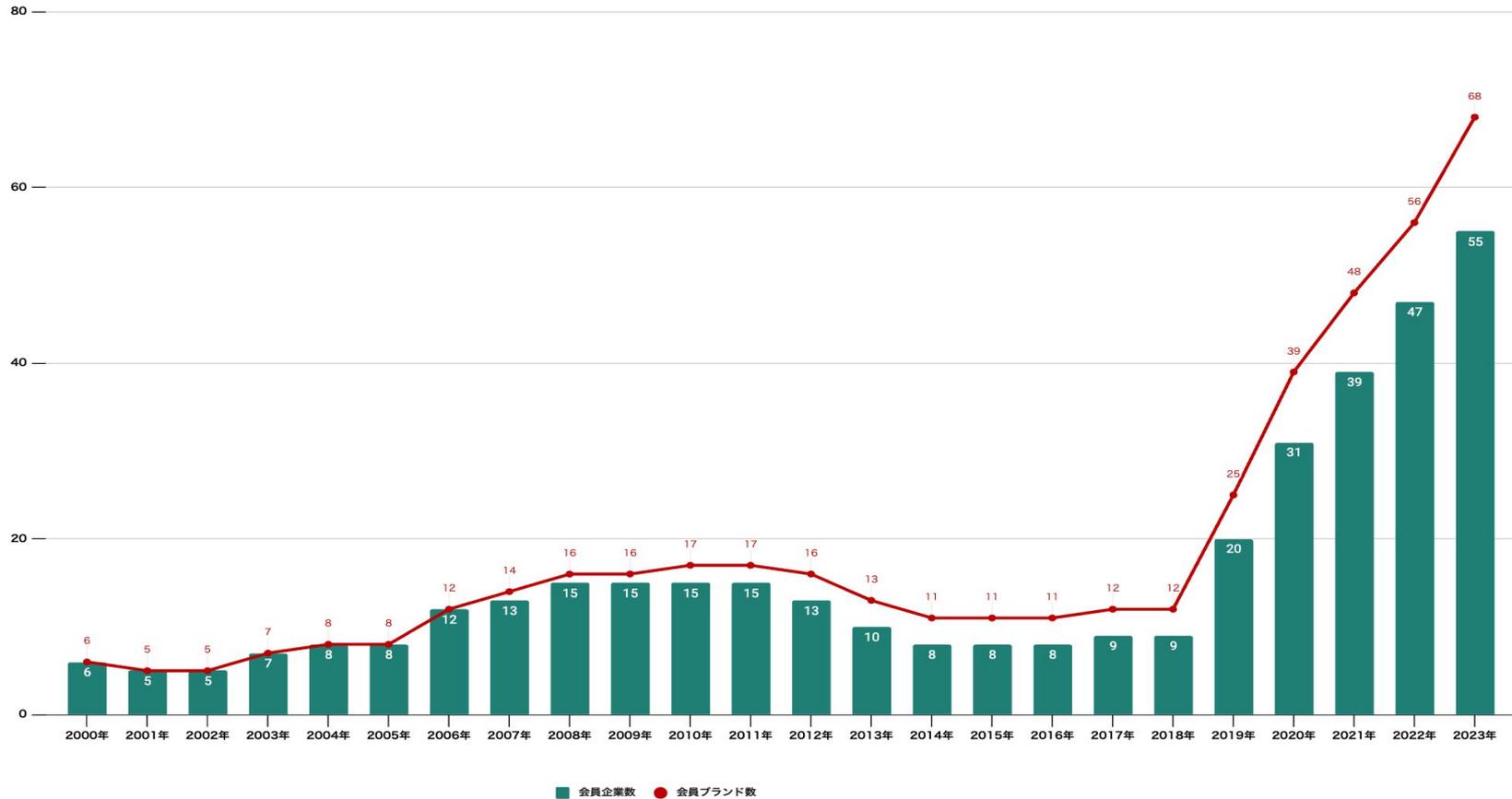


Outdoor Innovation Summit 7th (1/17)

毎年恒例のOISIにて三浦代表が生物多様性についてトークセッションに参加。同時にブースも出店し広報活動を実施。



Number of Member



New Member

2023年度新規入会



asobito[®]



OM SYSTEM



MATE.

一般社団法人コンサベーション・アライアンス・ジャパン
事務局

〒150-0002 東京都八王子市東浅川町313-2
株式会社ヨンロクニ内

事務局長：滝沢守生

TEL: 03-3797-0539 / FAX: 03-6419-7015

E-mail: info@outdoorconservation.jp

<https://outdoorconservation.jp/>

Board Member

代表理事：三浦 務

専務理事：古幡 浩史

理事：齋藤 栄樹

理事：与茂 雅之

理事：渡部 麻里

理事：西野 美加

監事：篠 健司



Conservation Alliance Japan

一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン